

## ～ 1 日目議題紹介～

### 1 C・半日アイスブレイク

開会式を経て、最初に半日アイスブレイクを行います。ここでは、班員だけではなく、色んな人と話をしてもらいます。特に議題もありませんので、より多くの人と悩みや「生徒会がこんなことをした」など自由に話をしてみてください！

また、今大会では「信頼」を軸に3日間議論を交わしてもらいます。まずは下準備として次のような議題を設けました！

### 1 E・信用と信頼の違い

信頼と言われてその幅がわかりますか？似た言葉で信用という言葉があります。その2つの言葉の違いを、生徒会活動を例に交えながらも構わないので挙げていきましょう。

そうすると、今大会で話し合う幅が絞れるはずです。

### 1 F・信用と信頼の方向性

そもそも「どことどこの信頼なのか」という点に注目してみましょう。「信頼」と言っても、1つだけではありません。必要な信頼を自分たちで考えましょう。

### 1 G・信用と信頼を図式化しよう

文字だけでは関係性は見えてきません。1 E・1 Fで浮き上がった関係図を、様々な場合に適用するために図式化を行いましょう。

## ～2日目議題紹介～

### 2C・発表

1日目に各班で出たことの共有を全体と各班で行いましょう。全班が同じことを考えているわけではないので、「こんな意見があるんだ！」という気づきの場にしましょう。

### 2E・概念の共有

2Eでは新しい班に変わり、2Cの発表を踏まえて、新たに洗練された「信頼の図」というものを確立させましょう。

その「信頼の図」は、後の議題で役に立つはずです。

### 2G・現状把握

何故、現段階で信頼関係が無いのかを考えて、信頼関係を気づくための問題点を挙げていきましょう。

### 2H・解決策を探る

2Gで出てきた問題点の解決方法を探ることによって、信頼関係を得る方法をあぶり出しましょう。

## ～3日目議題紹介～

### 3C①・解決策が八方美人になっていないか

2日目までに考えた関係性をもう一度見直そう。生徒会が関わっていなくても、別の相手との関係性があるのではないのでしょうか。

(例) 地域と生徒

### 3C②・解決策が単発的になっていないか

入れ替わりが激しい相手に対し、継続的に関係性を保つことは可能なのだろうか。もう一度、見直してみよう。

### 3E・プレゼン予選

3日間の議論を通して学んだこと・得たこと(インプット)を、参加者に対しプレゼン(アウトプット)しましょう。プレゼンの方法は、2E以降の全班を4グループに分け、グループごとで1班代表を選抜します。選抜の方法は、参加者が投票で決定します。

### 3G・プレゼン決勝

4つのグループから選抜された、計4班により決勝が行い、全参加者による投票で、勝敗を決めます。なお、結果については3Jの閉会式で発表します。